

令和6年度釜石市青少年問題協議会 議事録

1 日時 令和7年1月24日(金) 14:30~16:00

2 場所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

3 出席委員 15名

菊地広隆委員、深澤秋子委員、花輪妙子委員、木谷眞知子委員、岩間千枝子委員、及川賢一委員、菊池のどか委員、岩渕善吉委員、菊池哲彦委員、佐々木晴美委員、鈴木みどり委員、三浦正人委員（代理：釜石警察署生活安全課長 高橋友一氏）、長谷川寿子委員、菊池利之委員、小野共委員

4 欠席委員 2名

菊地裕委員、寺田恵美子委員

5 市出席者

まちづくり課 課長 佐藤貴之、こども家庭課 課長 村山明子、
学校教育課 指導主事 木下洋人、少年センター専任少年委員 丸岡秀彰
<事務局>

保健福祉部長 鈴木伸二、地域福祉課長 栗澤厚博、主事 榎山礼華

6 傍聴者 なし

7 結果

(1)開会

(2)会長挨拶：釜石市長 小野 共

(3)委員紹介

(4)講話

・「青少年の非行等の現状について」釜石警察署生活安全課課長 高橋 友一 氏

青少年の非行の現状、闇バイトに係る情報提供、青少年のインターネット利用について

・「最近の相談内容について」宮古児童相談所長 長谷川 寿子 氏

管内における相談内容、相談件数の推移、一時保護の現状、通告先に係る情報提供

(5)意見交換・質疑（進行：副会長 花輪委員）

市出席者より青少年育成に関わる取り組みについての説明を行った。

・学校教育課「不登校に対する取り組み」

当市の長期欠席児童生徒の現状、支援の状況、不登校対策・対応について

・こども家庭課「家庭児童相談室への相談状況」

相談件数の推移、相談内容・対応状況

・少年センター「青少年の健全育成について」

少年センター運営状況、委員委嘱・街頭補導実施状況

<市に対する主な意見・質疑>

①義務教育終了後の青少年への対応

(岩間千枝子委員)

小中学生については、手厚く対策していると把握できたが、高校生への対策は取られていないのか。18歳までは青少年とされている。

(こども家庭課)

年齢で区切らず、家庭で困ったことがあれば全て断らない窓口として受け入れている。その中で、18歳以上の方の問題を抱えている家庭があれば、適切な担当課に繋いでいる。また高校生であれば、当課で実施する学習支援を利用していくことができ、現在も2名の高校生が利用している。

②適応支援教室「若葉教室」利用者への配慮

(菊地広隆委員)

保護者目線で考えると、本来学校に行っている時間に子どもが家にいると電気代など家計に影響がある。「若葉教室」利用者のお昼の支援について、学校給食を持ってくるわけにはいかないと思うが、一日安心して預けられるような環境を作れないか。地域経済が衰退していて、お金の問題を抱えるとDVが起きやすいなどという統計もある、親が安心して預けられるセカンドプレイスを作れるように、自分は仕事に専念できるように、親身になって考えていくべきだ。

③不登校児童生徒への対応

(菊池哲彦委員)

以前は担任の先生が一世帯ずつ家庭訪問していたが、今はスクールソーシャルワーカーが訪問しているのか。

(学校教育課)

教員による家庭訪問は現在も行っており、不登校の生徒がいれば特別に家庭訪問を行う場合もある。基本的には担任の先生が電話連絡や訪問を行う。原因が福祉的な要素を持つ場合は、スクールソーシャルワーカーが連絡を取ったうえで訪問する場合もある。

(5)その他 なし

(6)閉会

以上